

Ⅲ 点検・評価結果

担当課：社会教育課

主要施策	7 郷土を愛し、健康な生活を育むための文化・スポーツ活動の推進 1) 歴史、伝統の保存・継承
事業名・取組名	(1) 文化財保護審議会の定期的な開催 (2) 茶屋（本陣）の活用促進
7 年度の取組	(1) 文化財保護審議会の定期的な開催 ・文化保護審議会開催にあたり、 ^{ごりんとう} 五輪塔の調査を実施 ・文化財保護審議会開催（3 回） 議題：伊能忠敬の足跡、 ^{ごりんとう} 五輪塔・ ^{ほうきょういんとう} 宝篋印塔について (2) 茶屋（本陣）の活用促進 ・就学支援事業等（平日） ・茶屋(本陣)活用事業 会議室の学習スペース利用（令和 7 年 5 月から毎週土日） 保存箇所的一般公開(見学)を開始（令和 7 年 5 月から毎週土日） 【利用者実績】 学習スペース利用：136 名 施 設 見 学：200 名 ・イベントボランティア育成事業 ①七夕まつり・ふれあいコンサート・ひなまつりイベントの開催 ②門松設置 ③イルミネーション設置 ・施設の維持管理 経年劣化により破損が生じていた座敷の床の間壁・雨戸・雨漏り等の修繕
7 年度の成果	令和 7 年 5 月から茶屋（本陣）の活用促進のため、施設の一部を学習スペースとして開放し、保存箇所の一般公開を開始した。学習スペースの利用者にはリピーターも多く、文化財施設における新たな利用者層を開拓する良いきっかけとなった。
課題・今後の取組	茶屋(本陣)の活用促進のため、令和 7 年 5 月より保存箇所の一般公開(見学)、会議室の学習スペース利用を開始した。町ホームページには施設利用に関する情報を掲載しているが、今後はさらなる周知方法や駐車場整備等の利便性を検討し、活用促進に向けた取組を行う。
	 学習スペース  ひなまつり

Ⅲ 点検・評価結果

担当課：社会教育課

主要施策	7 郷土を愛し、健康な生活を育むための文化・スポーツ活動の推進 2) 芸術・文化の振興
事業名・取組名	(1) 社会教育施設の環境整備 (2) カナリーホールによる町民のニーズにあった芸術鑑賞事業の提供 (3) 文化サークルの活性化と文化協会への支援
7 年度の実施	(1) 社会教育施設の環境整備 ・北部コミュニティセンター 受変電設備改修工事 ・茶屋本陣 修繕工事 (2) カナリーホールによる町民のニーズにあった芸術鑑賞事業の提供 ・普及育成事業の実施 ①カナリーステージナイン ¹⁶ 公演 (6 回) ②プレ・カナリーステージナイン公演 (4 回) ③オンガクたくはいびん ¹⁷ 公演 (2 回) ・有料公演の券売システムを導入 (3) 文化サークルの活性化と文化協会への支援 ・時津町文化祭の開催 【作品展】 町立小中学校の児童生徒作品や福祉団体や自主サークルの作品、長崎県展覧会入賞入選作品等を展示 【芸能音楽祭】 例年とぎつカナリーホールで「芸能祭」・「音楽祭」として開催しているが、令和7年度は、とぎつカナリーホール大規模改修工事のため時津公民館の講堂で実施 ・町文化協会への育成事業補助金の交付 ・町文化協会加入団体の社会教育施設使用料の免除 ・町文化協会主催事業の広報誌掲載や施設利用者へのイベントチラシの配布
7 年度の成果	令和7年12月にコスモス会館大規模改修工事が終了し、旧相撲場を大会議室に休憩室・娯楽室をふれあいルーム3(フィットネスルーム)に改修した。 この施設改修により、多様な活動ニーズへの対応が可能となり、利用率及び利用者のさらなる増加が期待される。
課題・今後の取組	令和8年度は、とぎつカナリーホールの大規模改修工事が完了する予定であり、リニューアル開館に向けた円滑な施設運営に努める。また、令和8年度の事業費として、有料公演1公演分の予算を確保しており、リニューアル開館を時期により開催可能な場合は、有料公演を実施する予定である。

Ⅲ 点検・評価結果

担当課：社会教育課

主要施策	7 郷土を愛し、健康な生活を育むための文化・スポーツ活動の推進 3) 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進
事業名・取組名	(1) 地域に密着したスポーツ活動の支援 (2) 生涯にわたって健康を維持するためのライフステージに応じた各種健康スポーツ教室の開催（海洋性スポーツを除く） (3) 海洋クラブの育成及び海洋性スポーツの普及 (4) スポーツリーダー・指導者の育成並びにボランティアの活用 (5) 中学校部活動地域移行についての学校及び関係団体との協議
7 年度の取組	(1) 地域に密着したスポーツ活動の支援 ・自治公民館スポーツクラブの加入者拡大並びに競技種目の拡大を図るための施設使用料の免除や優先的な施設貸出の実施 （ナイター施設：1 回程度／週、海洋センター2 回程度／週） ・誰もが気軽に参加できるレクリエーション型の町民体育祭を実施 ・V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカの公式戦への町内親子招待による、スポーツへの興味・関心の向上（V・ファーレン長崎：1 回／長崎ヴェルカ：1 回） (2) 生涯にわたって健康を維持するためのライフステージに応じた各種健康スポーツ教室の開催（海洋性スポーツを除く） ・幼児から高齢者までを対象とした各種スポーツ教室の開催（10 教室） (3) 海洋クラブの育成及び海洋性スポーツの普及 ・少年や大人を対象とした各種海洋性スポーツの普及を目的とする教室・イベントの実施 ・海洋クラブの指導・育成を行い、少年及び大人のクラブ員の活動の支援に取り組んだ (4) スポーツリーダー・指導者の育成並びにボランティアの活用 ・指導者セミナーの開催（1 回） (5) 中学校部活動地域移行についての学校及び関係団体との協議 ・令和 7 年度中に休日の地域移行が完了するよう学校及び関係団体との協議や説明を実施
7 年度の成果	中学校部活動について、地域の受け皿となる各種関係者との協議等を経て、全運動部活動の休日の地域移行(令和 8 年度から「地域展開」)を完了した。
課題・今後の取組	令和 8 年度中に、休日の地域展開を行った地域クラブへの補助金制度を創設し、円滑な地域クラブ運営を支援していく。また、将来にわたって子どもたちが継続してスポーツに親しむことができる機会を確保するため、経済的困窮世帯の生徒が地域クラブに参加できるよう補助制度の整備を行っていく。